

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期輪島市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

石川県輪島市

3 地域再生計画の区域

石川県輪島市の全域

4 地域再生計画の目標

輪島市は、日本海のほぼ中央に突出している能登半島の北西部に位置している。本市は、輪島地区(旧輪島市の地域)は、古墳時代から奈良時代にかけて大陸文化が伝えられ、中世には日本海沿岸域の代表的な港町として栄えていた。北前船の世紀には「親の湊」と呼ばれ海上交通の要所として栄え、江戸中期以降は、漆器業が盛んになった。門前地区(旧門前町の地域)は、中世に總持寺が開かれ、永きにわたり曹洞宗の本山を有する文字通りの「門前町」として栄えていた。

しかし、市の各種産業は、人口の減少等の影響からどの分野においてもかつての勢いは見られない状況である。昭和35年の国勢調査によると当時の人口は57,244人であったが、昭和40年には51,925人、同50年には46,816人、同60年には43,283人と減少し続け、令和2年の国勢調査においては24,608人となっている。この60年間に32,636人も減少したことになる。国立社会保障・人口問題研究所によると、本市の人口は引き続き減少し、2030(令和12)年には2万人を下回ると推計されている。

年齢3区分別人口の推移をみると、老年人口の割合は1990(平成2)年時点で21%の超高齢社会の基準を超え、2020(令和2)年では人口の46%が65歳以上の高齢者となっている。一方、年少人口の割合は1990(平成2)年時点で16.2%であったが、2020(令和2)年には7.4%まで減少し、少子化が進んでいる。

自然動態をみると、出生数は1976(昭和51)年は602人であったが、2023(令和5)

年には70人となっている。その一方で、死亡数は2023(令和5)年には675人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲605人(自然減)となっている。なお、本市の合計特殊出生率は、全国や石川県全体よりも高い水準で推移しているが、近年ではその差が縮小傾向にあり、2018(平成30)年から2022(令和4)年までで1.45(人口動態保健所・市区町村別統計)となっている。

転入者数から転出者数を引いた社会増減(純移動)数は、概ね転出超過となっている。しかし、2001(平成13)年以降はそれ以前と比べ、年によって社会増減数にばらつきが見られるようになり、2003(平成15)年には転入者1,028人、転出者1,002人で転入超過となっている。転入超過の要因は日本航空第二高等学校(現在の日本航空高等学校石川)の開校や能登空港の開港、臨空産業団地への企業進出などが考えられる。また、2013(平成25)年の数値と平成の初頭を比較すると、転入者数は若干の減少、転出者数は200人以上減少している状況となっている。2023(令和5)年は、転入者388人、転出者1,280人で、892人の社会減となっている。

このような状況が続くことで、「地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥る可能性が高くなると考えられる。また、多くの産業で平均年齢が45歳を上回っており、特に漁業・林業は67.4歳と非常に高齢化が進んでいる状況である。漆器産業を含む製造業も8割以上が40歳以上となっており、今後技術や技能を受け継ぐ若者の割合が低くなっている。伝統的な技術に限らず、企業存続への課題になる。

そこで、次の5つの基本目標を定め、着実に実行していくことで、産業振興、少子高齢化の抑制、市民力による「まち・ひと・しごと」づくりを推進する。

基本目標1 安全・安心・快適なまちづくり

基本目標2 活力を生み出すまちづくり

基本目標3 健やかに過ごすまちづくり

基本目標4 ふるさとを学び誇るまちづくり

基本目標5 市民と行政の協働によるまちづくり

【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2026年度)	達成に寄与する地方版総合

				戦略の基本目標
ア	居住誘導区域内の人口密度	37.1人/ha	33.5人/ha	基本目標 1
	空き家データベース登録件数	147件	250件	
	年間移住者数	40人	40人	
	移住定住住宅の整備	24室	24室	
	移住イベントへの参加回数	0回	4回	
	市道の改良率	69.9%	70.0%	
	市道の舗装率	87.9%	88.0%	
	公共無線LANアクセスポイント箇所数	13箇所	13箇所	
	光ファイバー整備状況	59.69% (令和元年度末)	100%	
	行政手続のオンライン化	4件	31件	
	水道普及率	90.9%	99.1%	
	下水道普及率	76.4%	84.3%	
	都市公園1人当たりの面積	5.1㎡/人	5.1㎡/人	
	地域リーダー養成講座受講者数	0人	10人	
	地域リーダー認定者	0人	10人	
	消防団員充足数	418人	435人	
	自主防災組織率	74.6%	80.0%	
	年間交通死亡事故件数	2件	0件	
	森林整備の維持	4.6億円	6億円	
	漁獲量の維持	10,148t	11,000t	
	農業就業者数	1,574人	1,730人	
	林業就業者数	178人	178人	
	漁業就業者数	506人	550人	
国・県・市・指定文化財件数(登録含む)	331件	336件		

	農村ボランティア年間参加者数	16人	30人	
	農泊事業実施団体数	1件	1件	
	1日1人当たり家庭系ごみ排出量	501g (令和元年度)	480g	
	リサイクル率	13.8% (令和元年度)	20%	
イ	年間観光入込客数	117.6万人 (令和元年度)	160万人	基本目標 2
	年間宿泊客数	16.1万人 (令和元年度)	23万人	
	年間外国人宿泊客数	2,346人 (令和元年度)	10,000人	
	収容人数(宿泊)	2,176人	2,200人	
	フィルムコミッション年間受 入件数	14件 (令和元年度)	30件	
	姉妹都市・友好交流都市等と の年間交流数(観光交流)	2回	8回	
	姉妹都市・友好交流都市等と の年間交流数(スポーツ交流)	1回 (令和元年度)	1回	
	コンベンション等誘致支援助 成事業年間助成人数	3,114人 (令和元年度)	4,000人	
	輪島塗生産額	年26億円	年50億円	
	ふるさと納税における漆器の 返礼品数	750件	1,200件	
	遊休施設利用促進補助金交付件数	44件	90件	
	地域資源を活用した商品開発	42件	80件	
	進出企業数	14件	20件	
	能登農業協同組合の売上高	19.63億円	25億円	
	能登森林組合の売上高	9.2億円	12億円	

	森林整備の維持(再掲)	4.6億円	6億円	
	石川県漁業協同組合輪島支所 ・ 門前支所の売上高	41億円	45億円	
	漁獲量の維持(再掲)	10,148t	11,000t	
	地域資源を活かした商品開発 件数(再掲)	42件	80件	
	地域リーダー養成講座受講者 数(再掲)	0人	10人	
	地域リーダー認定者(再掲)	0人	10人	
	新規出店補助金交付数	年48件	累計80件	
	事業承継支援補助金交付件数	0件	5件	
	障害者雇用促進奨励金交付事 業所数	14社	20社	
ウ	市内待機児童数	0人	0人	基本目標 3
	放課後児童クラブの待機児童数	0人	0人	
	市の審議会等における女性委 員の割合	25.6%	増加	
	女性防災士数	198人	増加	
	女性の町内会長・自治会長の割合	6.68%	増加	
	市職員の女性の管理職比率(一 般行政職：課長以上)	12.7%	20.0%	
	市職員の育児休業取得率	女性：100% 男性：8.3% (令和元年度)	女性：維持 男性：増加	
	地域貢献みまもり事業者数	72事業者	75事業者	
	延長保育実施箇所数	11カ所	11カ所	
	生後3箇月未満児の全戸訪問 実施率	98.9%	100%	
	ハイリスク妊婦・特定妊婦支援率	58.8%	60%	

	生活圏域ごとの訪問系通所系 地域密着型サービス実施率	35%	40%	
	高齢者等の集いの場	66箇所	75箇所	
	就労継続支援利用者数	105人	117人	
	市立輪島病院常勤医師数	18人	18人	
	市立輪島病院(本院)1日当 たりの外来患者数	458人	461人	
	市立輪島病院年間訪問看護件数	1,942件	2,000件	
	特定健康診査受診率	41.6%	60.0%	
	特定保健指導実施率	62.5%	60.0%	
	後期高齢者健康診査受診率	28.7%	35%	
エ	全中学校3年生の全生徒数に占 める、「英語検定3級」を取得し た生徒数の割合	56% (令和元年度)	80%以上 (令和7年度)	基本目標 4
	非認知能力の養成に関して学 校独自で策定する目標につい て、全小中学校における当該目 標を達成した学校数の割合	- (令和元年度)	75%以上 (令和7年度)	
	地域コミュニティ団体数	22団体	30団体	
	地域コミュニティ参加者数	年7,832人	年10,700人	
	スポーツ少年団登録団体数	14団体	14団体	
	スポーツ少年団登録団員数	193人	200人	
	輪島市子ども育成会連絡協議 会加盟団体数	22団体	22団体	
	公民館講座受講者数	21,326人 (令和元年度)	23,000人 (令和7年度)	
	スポーツ指導回数	480回	700回	
	全国規模のスポーツ大会出場 者数(ジュニア)	21人 (令和元年度)	100人	

	公認スポーツ指導者数	48人	50人	
	各種スポーツ教室数	95教室	100教室	
	体育施設年間利用者数	19万人	30万人	
	輪島市文化会館の入館者数	41,408人 (令和元年度)	65,000人 (令和7年度)	
	石川県輪島漆芸美術館の入館者数	27,138人 (令和元年度)	40,000人 (令和7年度)	
	国・県・市・指定文化財件数(登録含む)(再掲)	331件	336件	
オ	実質公債費比率	10.8%以下	13.0%以下	基本目標 5
	一般会計市債残高	300億円以下	218億円以下	
	行政手続のオンライン化(再掲)	4件	31件	
	オープンデータ公開データ数	1件	20件	
	AI・RPAの導入件数	1件	6件	
	市ホームページの年間閲覧数	45,167,394 View	80,000,000 View	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期輪島市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 安全・安心・快適なまちづくり事業

イ 活力を生み出すまちづくり事業

ウ 健やかに過ごすまちづくり事業

エ ふるさとを学び誇るまちづくり事業

オ 市民と行政の協働によるまちづくり事業

② 事業の内容

ア 安全・安心・快適なまちづくり事業

人口減少や高齢化、頻発する自然災害など、時代の変化に翻弄されることなく、これまでに地域が育んできたコミュニティ、豊かな自然や景観等を生かした安全・安心・快適なまちを目指す事業

【具体的な事業】

- ・豊かさを実現できる住環境の実現
- ・防災対策・対応力の強化
- ・自然環境の保全と自然の恵みの継承 等

イ 活力を生み出すまちづくり事業

戦略的交流による地域振興、活力に富む産業振興、多様な就労機会の創出など、多様な交流機会から産業の担い手育成を進め、活力を生み出すまちを目指す事業

【具体的な事業】

- ・ツーリズムの振興
- ・漆器産業の強化
- ・創業・事業承継支援 等

ウ 健やかに過ごすまちづくり事業

女性が活躍できるまち、地域で支え合う福祉の増進、生涯にわたる健康づくりを進めることで、人口減少に歯止めをかけるとともに、地域の活力を高め、市民が健やかに過ごせるまちを目指す事業

【具体的な事業】

- ・地域福祉の充実
- ・児童福祉の充実
- ・地域医療拠点機能の充実 等

エ ふるさとを学び誇るまちづくり事業

本市が有する自然豊かな里山里海や歴史と伝統文化を身近に感じることが出来る教育環境の下、困難に打ち克つ人づくり、伝統・文化を次代につ

なく取組を通じて、市民の誰しものがふるさとを学び誇れるまちを目指す事業

【具体的な事業】

- ・地域コミュニティの強化
- ・スポーツによる人づくり 等

オ 市民と行政の協働によるまちづくり事業

成熟した地域社会において官民の役割分担を明らかにしつつ、行政経営基盤の強化とともに、これまで以上に市民と行政の協働によるまちづくりを進める事業

【具体的な事業】

- ・行政手続のオンライン化
- ・AI・RPAの導入 等

※ なお、詳細は第2次輪島市総合計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

2,200,000千円（2025年度～2026年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

策定後の実績の評価・検証は、毎年3月頃にPDCAサイクルに基づいて各施策の担当課で定期的を実施することに加え、輪島市創生総合戦略推進審議会委員など外部有識者の意見を取り入れながら実施し、その結果を市のWEBサイトなどで公表する。

⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2027年3月31日まで

6 計画期間

2025年4月1日から2027年3月31日まで